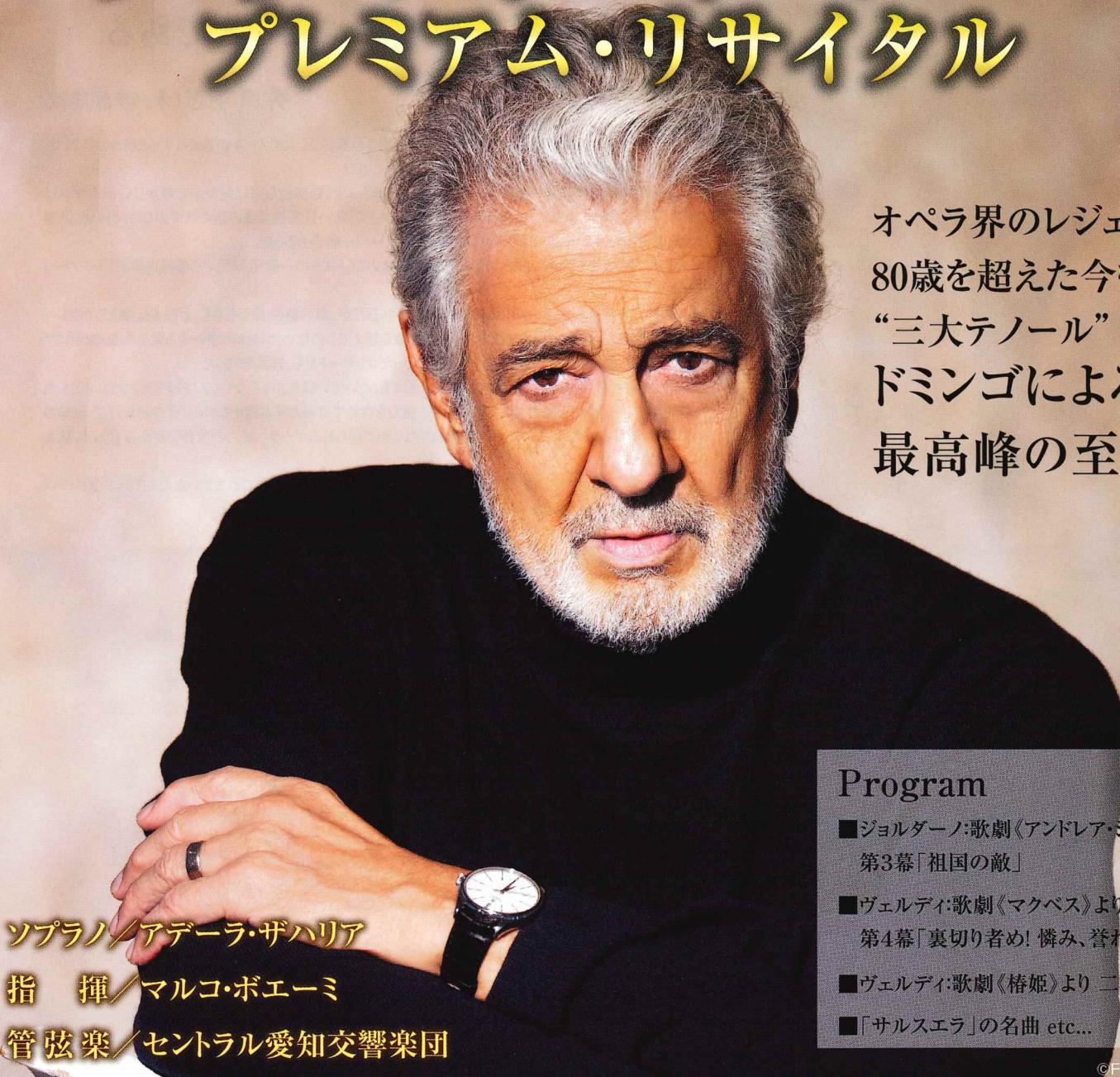


プラシド・ドミンゴ

プレミアム・リサイタル

オペラ界のレジェンドは
80歳を超えた今も現役
“三大テノール”
ドミンゴによる
最高峰の至芸を!



ソプラノ／アデーラ・ザハリア
指揮／マルコ・ボエーミ
管弦楽／セントラル愛知交響楽団

Program

- ジョルダーノ:歌劇《アンドレア・シェニエ》より
第3幕「祖国の敵」
- ヴェルディ:歌劇《マクベス》より
第4幕「裏切り者め! 憐み、誉れ、愛」
- ヴェルディ:歌劇《椿姫》より二重唱
- 「サルスエラ」の名曲 etc...

©Fiorenzo Niccoli

5/15 水 18:45開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 30,000円	A席 24,000円	B席 19,000円
C席 14,000円	D席 9,000円	U25席 5,000円

※U25はアイチケット(電話)のみの取扱いです。25歳以下で来場時に年齢確認いたします。(おひとり様1公演につき1枚限り)
※車椅子のお客様はご購入前にアイチケットまで必ずお問い合わせください。

※入場料金には消費税が含まれます。

※やむを得ない事情でプログラム内容、出演者が変更になる場合がございますのでご了承ください。

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

お問合せ

CBCテレビ 事業部

TEL (052) 241-8118 10:00~18:00(土・日・祝日休み)

主催/CBCテレビ 後援/愛知県・中日新聞社・CBCラジオ

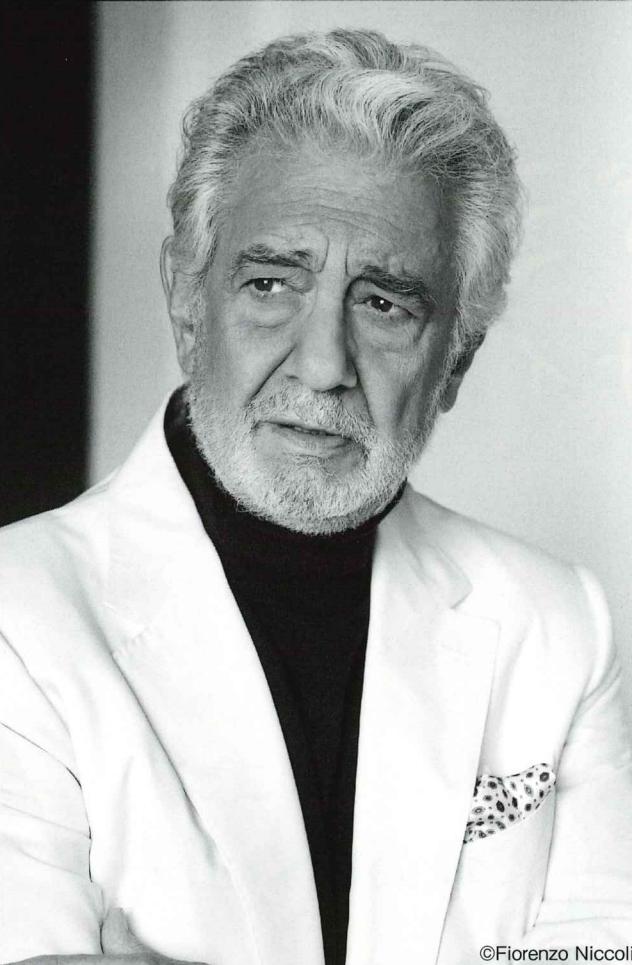
チケットのお求めは 一般発売 11月22日(水)

●アイチケット	0570-00-5310 https://clanago.com/i-ticket
●チケットぴあ	https://t.pia.jp + Pコード 252-956
●ローソンチケット	https://l-tike.com + Lコード 40136
●e+(イープラス)	https://eplus.jp
●芸文プレイガイド	052-972-0430
●名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
●栄プレチケ92	052-953-0777
●CBCチケットセンター	https://www.funity.jp/cbc-ticket/

最新情報は、CBCテレビのホームページで
ご確認ください。 CBC 名古屋国際音楽祭 検索



CBCテレビ



プラシド・ドミンゴ プレミアム・リサイタル

いまドミンゴを聴く。 それは奇跡を現実にすることである

香原斗志(オペラ評論家)

プラシド・ドミンゴというと「三大テノールの」と形容されるが、三大テノールが集まるずっと前から特別で、いまなお特別すぎる歌手である。

全盛期のドミンゴは、歌唱はノーブルかつスタイリッシュで、魅惑的な声は艶やかで輝かしく、出演すれば常に「特別な舞台」になった。指揮や作曲も学んでいて、高い音楽性は並み居る歌手のなかで特別。演劇的な説得力もひときわ高い。全方位的に完璧な「スーパー歌手」だった。

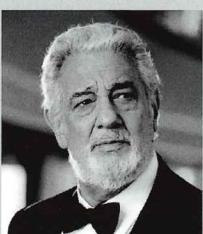
だが、これは昔を懐かしむ話ではない。ドミンゴはいまも「スーパー歌手」だという事実自体が「スーパー」である。

現在、歌っているのはパリトンのレパートリーが中心だが、声の艶も、輝かしさも、力強さも、凛としたフレージングも健在だ。もちろん昔と同じではないが、80歳を超えてこの歌の力には戸惑いすら覚える。2022年にゲオルギュと歌ったときも、23年のカレーラスと行ったコンサートでも、言葉を失った。

この年齢の歌手は、声が維持されていたとしても、たいていは息がもたない。ところがドミンゴは、いま長く美しいフレージングを聴かせる。それは身体能力を含めて奇跡と呼ぶほかないが、そのおかげで、ほかのだれにも不可能な圧倒的なキャリアを重ねてはじめて得られるオーラと無二の味わいががみ合って、歌からじみ出る。

そんな歌手は、オペラの歴史上はもちろんのこと、あらゆる歌の世界にこれまでいただろか。いまドミンゴを聴くということは、それほど特別なことである。

©Fiorenzo Niccoli



プラシド・ドミンゴ（テノール、バリトン）

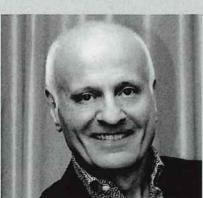
1941年にスペインのマドリードで生まれる。スペインの歌劇「サルスエラ」の劇団を主宰する両親とメキシコに移住し、メキシコシティ国立音楽院を修了。59年にメキシコ国立歌劇場にデビューした。それから65年近く経ながら、いまもオペラの舞台に立ち続けている。70年代にはすでに世界の著名劇場や音楽祭を席巻し、公演のたびに熱狂を巻き起こすトップ・スターだった。パヴァロッティ、カレーラスとともに世界中を沸かせた「三大テノール」の最初のコンサートからも、30年以上が経過している。400年を超えるオペラの歴史で、これほど長く舞台で歌い続けた例はほかにない。しかも、艶がある魅惑的な声もノーブルな表現力も衰えは最小限で、いまなお若い歌手を寄せつけず、公演のたびに熱狂を巻き起こしている。オペラのレパートリーは150前後といわれ、その数も過去に例がない。あらゆる常識を覆しつつ、いまも快進撃を続ける、正真正銘の「不世出の歌手」である。



アデーラ・ザハリア（ソプラノ）

ルーマニアに生まれ、ベルリン・コーミッシェ・オーパーやライン・ドイツ・オペラのアンサンブル・メンバーとして活躍後、2017年にドミンゴ主宰のコンクール「オペラリア」で第1位とサルスエラ賞を獲得。すぐにバイエルン州立歌劇場の《ルチア》にデビューし、その後は、英国ロイヤル・オペラやパリ・オペラ座をはじめ世界各地でセンセーションを巻き起こしている。少し陰のある硬質な声を全音域で自在に操り輝かせる歌唱は比類ない。

©Liviu Popa



マルコ・ボエーミ（指揮）

ローマ出身で、サンタ・チェチリア音楽院でピアノと指揮を学んだが、ラ・サビエンツァ大学の法学部も卒業している。ロンドンで研鑽を積んだ後、数々のコンクールに入賞し、世界有数の歌劇場や音楽祭で演奏を重ねてきた。オペラの指揮で名高いが、モーツアルト、ベートーヴェン、マーラーなどオーケストラ曲のレパートリーも広い。ドミンゴのほかパヴァロッティ、ブルゾン、ネトレプロコラ大歌手との共演も多く、厚く信頼されている。

第47回 名古屋国際音楽祭 2024年4月6日(土)～7月14日(日)

会場：愛知県芸術劇場コンサートホール

4/6 土
(15:00 開演)

名古屋国際音楽祭
オープニング・ガラ・コンサート

6/8 土
(15:00 開演)

チョ・ソンジン
ピアノ・リサイタル

5/15 木
(18:45 開演)

プラシド・ドミンゴ
プレミアム・リサイタル

7/5 金
(18:45 開演)

小林研一郎 指揮 (ピアノ: 龜井聖矢)
ハンガリー・ブダペスト交響楽団

5/30 木
(18:45 開演)

山田和樹 指揮 (ピアノ: 藤田 真央)
モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団

7/14 四
(15:00 開演)

ペトル・ポペルカ 指揮
プラハ放送交響楽団 (チェロ: 佐藤晴真)

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お問い合わせいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。